

木道 (つち) たたく道具

日本の木造建築の伝統のかげには、大工の肉体の一部となり、使い馴らされてきた多くの大工道具がありました。代表的な大工道具をとりあげ、解説します。

1. 玄能 (げんのう)

玄能 (げんのう) は、主に鑿 (のみ) や釘を叩く際に使用します。両小口に同じ大きさの面を持つ両口玄能のほか、頭部の片側が尖り、小さな面となる舟手玄能、片口玄能などがあります。

両口玄能の小口は、片方は平らで、もう一方はやや膨らみがあります。鑿叩きや釘打ちには平らな面を使用します。膨らみのある面は木殺し面といい、木材の表面の叩きしめに使用します。柱などの取付けや、鑿柄の冠 (かつら) のはめ込みは、木を叩きしめ、わずか隙間を作ることによって容易になります。また、釘打ちで最後に釘を材にしづめる時も、小口の角で材の表面を傷つけないように木殺し面で行います。

玄能の大きさは、重量で表されます。現在でも、匁に対応した重さで作られます。主として荒仕事に使用する玄能は、100匁 (375g) です。柄には、主にカシを使用します。金槌は、釘を打つ時に使用します。先切金槌の他に、下腹金槌や、順の四分一金槌などがあります。下腹金槌は、頭部が短く作られていて、隅などの狭い部分に釘を打つ時などに使用します。



▲ 左から 両口玄能、舟手玄能、片口玄能

コラム 玄能の名前の由来？

「昔、武藏の国、那須野というところに殺生石という怪石があって、この上を飛ぶ鳥は落ち、これに触れた獣はたちまち死んだため、玄能という和尚が呪文をとなえ大鉄槌で殺生石を碎いてから、この怪異はとまった。これより大きな鉄槌を玄能というようになった」と江戸時代の地誌『雍州府志』(1686) は伝えている。

こころ豊かなスローライフのための情報誌

木族の家通信



No.94

家族が集う木の住まい
株式会社木族の家
きぞくノイエ
2016年8月1日号 (毎月1日発行)

□□□□□□□ 快 適 に く ら す 耳 よ り な お 話 □□□□□□

「クールシェア」ってご存知ですか？

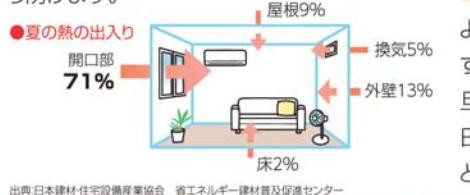
連日の猛暑にもめげず、元気にお過ごしですか？
「クールシェア」とは、図書館やカフェなど公共施設を利用して涼をシェアする、
など1人あたりのエアコン使用量を見なおすことだそうです。
家族みんなで出かけて、涼と楽しさをシェアするのもいいですね。

季 節 の 省 工 ネ

冷房の省エネ効果をアップさせるには？

窓のリフォームで冷房効率アップ！

エアコンの冷房効率を高めるためのポイントは「窓」！ 夏に窓サッシ・ガラスを伝て外から入ってくる熱は、家全体の71%にも及びます。ペアガラスに変えたり、二重窓にするなどの手軽なリフォームで、熱が室内に入るのをしっかり防げます。



よしずや緑のカーテンで太陽熱をカット！



遮熱性の高い窓で熱を入れない



涼しい
キッチンって
うれしいわ。

IHで冷房の省エネ&快適調理！

IHクッキングヒーターは火を使わないから室温の上昇を抑えることができ、冷房にかかるエネルギーの節約になります。

夏のキッチンもこれでカイテキです！

室内に熱を入れないことが大事！

よしずや緑のカーテンを使うとより効果的です。最近の住宅は断熱化が進んでいるため、一旦室内に熱が入るとなかなか外に出ません。日光による熱をできるだけ室内に入れないことが重要なのです。

水やりの手間をなくす工夫



夏です。この時期、朝の水やりは至福のひとときですが、これが、永遠に続くと憂鬱になります。以下の工夫は、そんな人に役立つでしょう。

●庭がさほど大きくな場合、小型自動灌

水装置(タイマー・湿度センサー付き、植え方に応じて様々なノズル等を利用:1万円前後)1基ですべて解決します。ちゃんとセットすれば海外旅行時も安心です。(寒冷地では凍結防止対策も忘れずに)。

●ホースの水撒きでは、リール式は煩わしいのでコイル式等がお勧めです。

●コンテナーの場合:水やり手間を少なくするには、なるべく大きな鉢を利用、配置か所をまとめるか、底面給水鉢



(鉢底の受け皿から水を吸い上げる)を使用する等で水やり手間を減らします。もっと簡単には鉢皿に水を溜めて不織布や綿の紐など吸水性のある紐を通して給水します(ボウフラ発生注意)。

●バスケット:自動給水型を選ぶのがベストですが、短期の設置なら保水シート等を利用してもいいでしょう(水過多の場合排水し、土壤の水分調整機能も発揮)。

井上忠佳 (著「がんばらないガーデニング」)

